

自民党総裁選2021 LDPオープンタウンミーティング  
「国民の声に応える政策討論会参加者応募 & ご意見応募」集計結果

## 5日間で1,907件の応募。若年層3割。安全保障16%で最多

自民党は、総裁選挙告示日の17日正午～21日正午締切で実施した「政策討論会へのオンライン参加者募集 及び ご意見募集」について、党ウェブサイトにお寄せいただいた国民の声を集計しました。

本件に関しては、多くのメディア関係者の皆様よりお問い合わせを頂いておりますので、結果の一部をご報告いたします。

また、今般の総裁選挙に伴う選管主催の演説会・討論会について、多くのメディアの皆様コロナ対策にご協力いただきながらご取材いただきました。心より感謝申し上げます。



### 【お寄せいただいた国民の声】

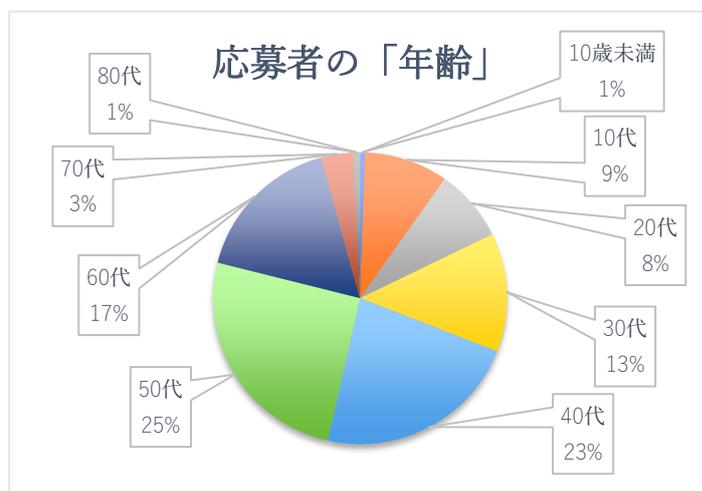
・ 政策討論会へのオンライン参加応募	845件
・ ご意見のみの応募	1,062件
<b>(合計)</b>	<b>1,907件</b>

### 【応募者の「年齢」】

社会の最前線で活動する50代が25%、40代が23%と多く、それぞれ全体の1/4程度を占めました。

また、10代～30代を合わせると全体の3割を占めています。ここから、政党が接触機会を増やすことができれば、若年層の積極的な政治参加を促せる可能性があります。

自民党は引き続きリアルでもリモートでも様々な機会を通じて各層とのコミュニケーションを最大限に広げてまいります。



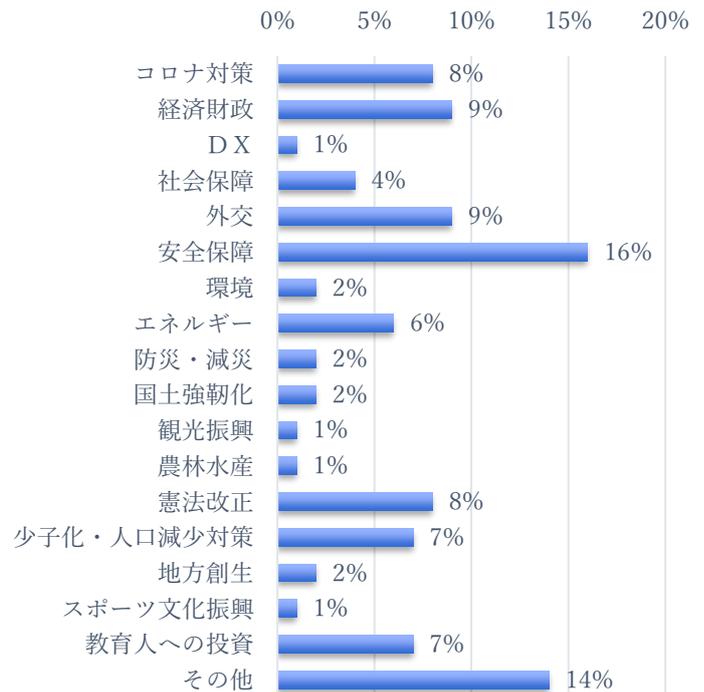
### 【質問・意見の「政策テーマ」】

今回の応募者で最も多かったのは「安全保障」で、全体の16%を占めました。

続いて、特定の政策テーマに関わらず、広い観点からの政策提言や党への叱咤激励など「その他」の分野が14%。

また「経済財政」、「外交」が9%、「コロナ対策」、「憲法改正」が8%、「少子化・人口減少対策」、「教育・人への投資」が7%を占め、応募者の注目がコロナ感染症への対応だけでなく広範な政策テーマに及んでいることがわかりました。

### 意見・質問の「政策テーマ」

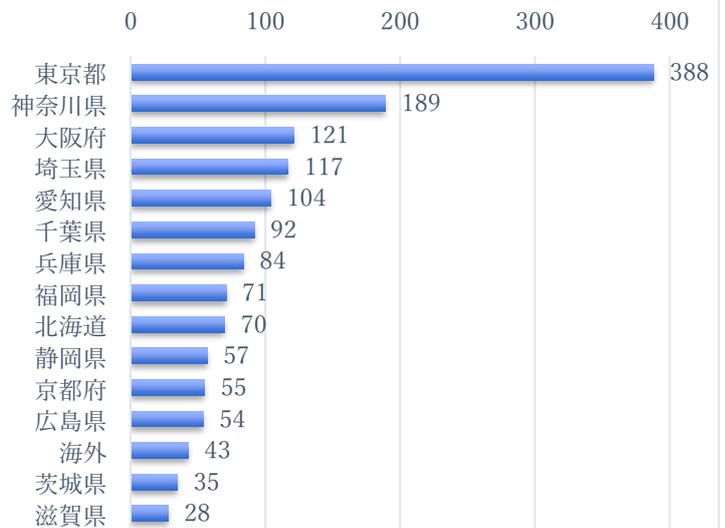


### 【応募者の「在住地」】

国民の声はすべての都道府県から寄せられましたが、首都圏、関西圏、中京圏に続く形で、海外からの応募が43件ありました。

オープンタウンミーティング当日の質問者（抽選に当たった方）の中にも海外からオンラインでご参加いただいた方が複数名おり、これまでの党活動の中でもリモートの利点を最大限活用できた討論会になったと思います。

### 応募者の「在住地」ベスト15



### 【党籍の有無】

845件のオンライン参加への応募者

には、党籍の有無（党员か否か）やJ-NSC会員かについても確認いたしました。

その結果、党籍もなく、J-NSC会員でもないという応募が573件に上りました。

今回のような取り組みを通じて、より多くの方に自民党や政治について関心を持っていただければと考えています。

自民党は国民との絆をさらに深めていくため、今回の知見を活かしつつ、時代の要請に適合した新しい活動に今後もチャレンジしてまいります。